

もも組だより 6月号

令和3年6月8日 ことり保育園 担当 田野



紫陽花が道を彩る季節となりました。

花の色が、薄緑からピンク、青へと変化する様子を、散歩のたぎに見てきたので、それを「タンポ」（棒に、綿や布を球状に巻きつけた物）を使った絵で表現することにしました。

「タンポ」に絵の具をつけて、画用紙に叩くように押しつけると、丸い模様が現われます。それを見て興味を持った子ども達、「青」「お花」と言いながら色とりどりに描くことが出来ました。保育室の前に飾りました。可愛い紫陽花をぜひご覧ください。



さて、先日、段ボール箱で遊んだときの事です。いろいろな遊び方が出来るよう、側面に穴を開けたり、上部を開いて中に入れるようにしたりと、数種類用意しました。

すると、ある子が「大きなたいこドンドン」と歌いながら段ボール箱を叩き始めたのです。「大きな箱＝大きなたいこ」と、イメージが繋がったのでしょう。そこで、「バチ」になるようウレタン製の棒を出し、渡しました。歌いながら軽快に叩く様子がとても楽しそうだったせいか、お友達も次々に加わって、歌声が「トントントン」という心地良い音でいっぱいになりました。

箱を太鼓に見立てるといふ発想や、真似てやってみようという意欲に成長を感じました。

これからも、日々の経験から、豊かな感性を引き出していきたいです。